

地域ケア推進会議

鹿児島市地域包括支援センター 上町

【計画】

作成担当者： 米森 貴子

開催日時	令和02年02月27日 14:00 ~ 15:30	開催場所	清水町公民館
参加者	民生委員：2人、コミュニティ協議会：2人、社会福祉法人：3人、社会福祉協議会：1人、病院相談員：1人、保健センター保健師：1人、居宅介護支援事業所・デイサービス事業所代表者：1人、地域包括支援センター職員：9人 総数 20人		
内容	テーマ	(1) 目標とする地域の姿について (2) 生活支援コーディネーターより報告 (2) 認知症地域支援推進員より	
	目的	地域包括支援ネットワークの構築、地域課題の発見、地域づくり・資源開発	
	概要	(1) 今までの会議の流れを皆で再確認し、抽出された各地域課題(4項目)に対して強みを生かした「取組のアイデア」を地区別にグループに分かれグループ討議を行う。 (2) 介護サービス事業所活用支援事業、支えあい活動補助金について生活支援コーディネーターより説明を行う。 (3) 認知症ケアパスについて認知症地域支援推進員より説明を行う。	

【結果】

開催日時	令和02年02月27日 14:00 ~ 15:30	開催場所	清水町公民館
参加者	民生委員：2人、コミュニティ協議会：2人、社会福祉法人：3人、社会福祉協議会：1人、病院相談員：1人、保健センター保健師：1人、居宅介護支援事業所・デイサービス事業所代表者：1人、地域包括支援センター職員：9人 総数 20人		
内容	(1) 第2回の会議にて、各校区優先順位は違うが、「移動・交通」「集いの場」「見守り・災害」「支え手」4つの項目に集約された。可能、不可能にとらわれず様々な取り組みのアイデアを出していただく。 「移動・交通」・・・手押し車にて徒歩で移動される高齢者の為、交通整備が必要。バスの運行廃止になる団地もあり、乗り合いバスや乗り合いタクシーの必要性高い。バス停までの坂道の問題もある為、乗り合いタクシーがよい。買い物困難者の為、吉野生協では送迎バスが試験運行される。他の店もこのような支援の輪が広がるとよい。 「集いの場」・・・易居町公民館での集いの場があるが、のぼり旗など通りかかった人が気軽に入りやすい工夫が必要。集いの場(老人クラブやお達者クラブ、よかよか体操クラブなど)の広報や関係者との連携など必要。男性が集える場が作れるように、集まる目的意識が持てる仕掛けづくりが必要。タイヨ一のイトインコーナーなどみんなが気軽が集まれる場所が必要。あいご会など世代を超えた連携にてやりがい意識が持てるような工夫が必要。集いの場と住民を結びつける手段が必要。カラオケや食事に変化をつける、また将棋や囲碁など趣味活動に特化するなど内容に対して工夫し、参加したい気持ちを高める。集いの場の環境が整っていないことから、集いの場周辺の駐車場(市営・県営住宅など)の提供協力を頂くことができれば、車での移動も可能となる。 「見守り・災害」・・・避難場所として公民館の環境整備(段差解消や2階への移動補助)。介護施設の避難場所としての連携ができるか情報把握。企業、店、ホテルなど緊急時の避難場所提供の依頼。町内会での見守り体制継続の必要性あり。 「支え手」・・・男性の社会参加を勧めるためには、役割を持っていただくことが必要。教育委員会のスクールコーディネーターなどと連携し、学校の先生をサポートする高齢者		
今後の課題など	・現在、地域で取り組んでいる集いの場を普及啓発していくための仕組みを検討する。 ・施設での場所の提供は可能だが、そこまで通う手段がないため、活用まで至ることができていない。地域と事業所を繋げる仕組みづくりを検討する。		